

秋田県立能代高等学校定時制課程中期ビジョン（5 か年計画）
（令和 8 年度～令和 1 2 年度）

I 本校が目指す姿

① スクール・ミッション

生徒一人一人の学びを支え、地域とともに未来を切り拓く人材を育成する学校

② スクール・ポリシー

（i）グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- ・自己を認め、自分らしい未来を主体的に選択できる生徒
- ・多様な他者を尊重し、地域社会の一員として自立できる生徒

（ii）カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- ・生徒一人一人の学習歴や特性、進路希望に応じた「個別最適な学び」と、多様な仲間や地域との「協働的な学び」を両輪とした教育活動の推進
- ・ICTや遠隔教育を積極的に活用することにより、基礎学力の定着を図る教育活動の推進
- ・体験的な学びを充実させることにより、社会とのつながりを意識しながら主体的に自己実現を目指す教育活動の推進

（iii）アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- ・自分の可能性を広げようとする意欲のある生徒
- ・自分のペースで学びながら卒業を目指す意思のある生徒
- ・他者を尊重し、仲間や地域とのつながりを大切にできる生徒
- ・将来の自立や社会参加に向けて主体的に努力する生徒

Ⅱ スクール・ポリシーを踏まえた５年間の取組

① 現状と課題

本校は令和３年度に県立能代高等学校定時制課程（ニツ井キャンパス）として開設され、生徒一人一人に寄り添った教育を実践してきた。

一方で、不登校経験のある生徒や特別な支援を必要とする生徒の増加、進路希望や学習歴の違いなどを背景として、生徒の教育的ニーズは一層多様化している。

また、少子化による志願者数の減少が進む中、本校の教育の特色をより一層明確にするとともに、多様な学びを支える教育環境の充実が不可欠となっている。

今後は、ＩＣＴや遠隔教育を活用した「個別最適な学び」をさらに推進するとともに、特別支援学校や地域、関係機関との連携を一層強化し、多様な生徒が安心して学び、自立を目指すことのできるインクルーシブな教育環境の実現を目指す。

② 具体的な取組

（ⅰ）一人一人の学びを支える教育の充実

生徒一人一人の学習歴や特性、進路希望に応じた「個別最適な学び」を推進するとともに、ＩＣＴの効果的な活用やユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を進め、誰もが安心して学び続けることのできる教育環境を整備する。

（ⅱ）社会的自立に向けたキャリア教育の充実

地域と連携した探究活動や体験活動、インターンシップ等を通して自己理解を深め、自ら進路を選択し、社会的自立を果たすために必要な資質・能力を育成する。

（ⅲ）多様性を尊重するインクルーシブな学校づくり

秋田大学や特別支援学校、関係機関との連携を深め、生徒一人一人に応じた支援体制を充実させるとともに、互いの違いや多様性を認め合い、誰もが安心して学び、成長できる学校づくりを推進する。

（ⅳ）地域とともに歩む特色ある学校づくり

白神山地をはじめとする地域資源を活用した学びを充実させるとともに、本校の教育活動や魅力を積極的に発信し、地域から信頼される学校づくりを推進する。